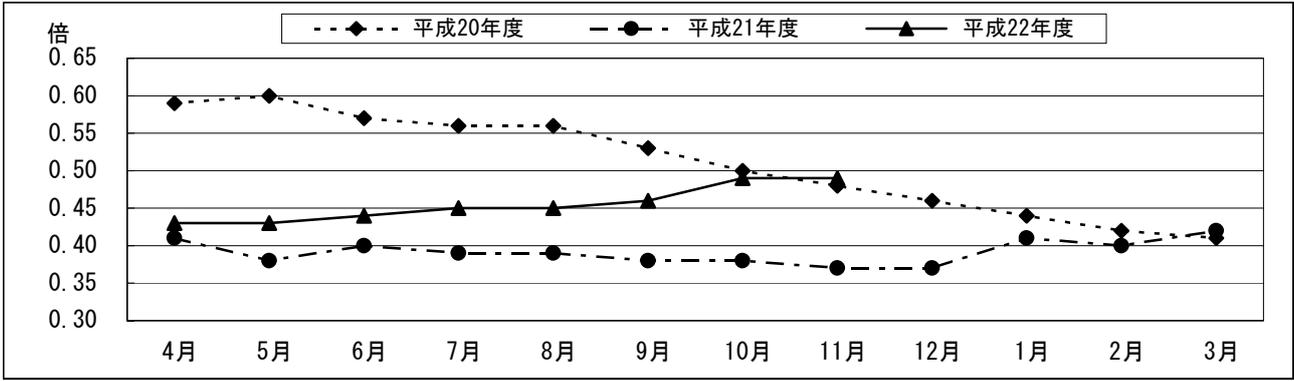


# 有効求人倍率の推移（季節調整値）



## 職業紹介主要指標

項 目		22年 11月	22年 10月	前月比 (差)	21年 11月	前年同月比 (差)	
全数 (パートを含む)	1. 新規求職申込件数	6,205	7,045	▲ 11.9	5,736	8.2	
	2. 月間有効求職者数	27,312	29,046	▲ 6.0	28,508	▲ 4.2	
	3. 新規求人数	5,515	6,093	▲ 9.5	4,278	28.9	
	4. 月間有効求人数	14,717	14,908	▲ 1.3	11,503	27.9	
	5. 紹介件数	11,045	12,426	▲ 11.1	11,053	▲ 0.1	
	6. 就職件数	2,708	2,804	▲ 3.4	2,313	17.1	
	7. 充足数	2,545	2,641	▲ 3.6	2,177	16.9	
	比率	8. 有効求人倍率(倍)	季調値 0.49 原数値 0.54	0.49 0.51	0.00 0.03	0.37 0.40	0.12 0.14
		9. 就職率 $\frac{6}{1}$ (%)	43.6	39.8	3.8	40.3	3.3
		10. 充足率 $\frac{7}{3}$ (%)	46.1	43.3	2.8	50.9	▲ 4.8
中高年 (パートを含む)	11. 新規求職申込件数	2,156	2,590	▲ 16.8	2,033	6.1	
	12. 月間有効求職者数	11,255	11,983	▲ 6.1	11,871	▲ 5.2	
	13. 紹介件数	3,916	4,576	▲ 14.4	3,786	3.4	
	14. 就職件数	962	992	▲ 3.0	749	28.4	
	15. 就職率 $\frac{14}{11}$ (%)	44.6	38.3	6.3	36.8	7.8	
雇用保険	16. 適用事業所数	19,482	19,468	0.1	19,336	0.8	
	17. 被保険者数	270,592	269,531	0.4	263,376	2.7	
	18. 離職票提出件数	1,566	1,893	▲ 17.3	1,798	▲ 12.9	
	19. 受給資格決定件数	1,338	1,734	▲ 22.8	1,542	▲ 13.2	
	20. 受給者実人員(所定内)	7,168	7,351	▲ 2.5	8,896	▲ 19.4	
	21. 総支給金額(千円)	874,975	846,060	3.4	1,099,609	▲ 20.4	

## 11月の雇用の動き

求職者1人当たりの有効求人数を示す平成22年11月の【有効求人倍率】(季節調整値)は、前月と変わらず0.49倍となった。

【有効求人】は、(季節調整値)前月比で0.2%減、前年同月比で27.9%増(9か月連続)。

【有効求職】は、(季節調整値)前月比で0.6%減、前年同月比で4.2%減(8か月連続)。

【新規求職】は、前年同月比で28.9%増(9か月連続)、【新規求職】は同8.2%増(2か月ぶり)となった。

【新規求人数】は、一般32.0%(893人)増、パート23.1%(344人)増、全体で28.9%(1,237人)増となった。

産業別にみると、鉱業・採石業・砂利採取業が50.0%(1人)減で13か月ぶりに減少に転じたが、それ以外は全ての産業で増加となった。主な業種では、卸売業・小売業は9.2%(71人)増で11か月連続、医療・福祉は33.6%(307人)増で6か月連続、宿泊業・飲食サービス業は63.5%(172人)増、製造業は14.6%(70人)増でともに5か月連続の増加、複合サービス業は255.8%(110人)増で2か月連続の増加となり、建設業は29.4%(91人)増で2か月ぶりの増加となった。

【新規求職者数】は、一般4.0%(170人)増、パート19.9%(299人)増、全体で8.2%(469人)増となった。

“パートを除く常用求職者”を求職時の態様別にみると、自己都合離職者は3.6%(64人)増で3か月ぶりの増加となり、無業者は65.3%(196人)増で21か月連続、在職者は15.7%(128人)増で10か月連続のそれぞれ増加となった。一方、事業主都合離職者は18.7%(222人)減で12か月連続の減少となった。また、常用求職者を職業別にみると、運輸・通信の職業は2.2%(5人)減で2か月連続の減少となったが、それ以外は全ての職業で増加となった。販売の職業は5.8%(40人)増で7か月連続の増加となり、専門的・技術的職業は5.9%(49人)増で3か月ぶり、事務的職業は17.2%(201人)増、サービスの職業は15.8%(83人)増でともに2か月ぶりの増加となった。

“パートを除く常用求職者”を5歳刻みの年齢階層別(11区分)にみると、20歳～24歳は7.7%(43人)増、25歳～29歳は6.8%(45人)増、30歳～34歳は7.0%(39人)増で、いずれも2か月ぶりの増加となった。一方、45歳～49歳は3.5%(13人)減で4か月ぶり、50歳～54歳は6.0%(22人)減で3か月ぶりのそれぞれ減少となり、55歳～59歳は3.9%(14人)減で3か月連続の減少となった。【職業紹介状況】は、紹介件数が0.1%減の11,045件となり、就職件数は17.1%増の2,708件となった。うち、パートの紹介件数は2.4%減の2,880件となり、就職件数は16.4%増の889件となった。就職率(対新規求職者)は、3.3ポイント上りして43.6%となった。

本県の労働市場は、有効求人倍率(季節調整値)が0.49倍となり、対前月差では変わらず、前年同月差では0.12ポイント上昇し9か月連続の上昇となった。有効求人数、有効求職者数ともに前月差では僅かな減少となったことから、変わらずとの結果となった。

新規求職については、前年同月差8.2%増で2か月ぶりの増加となった。事業主都合離職者は減少しているが、自己都合離職者が増加に転じ、無業者や在職者も引き続き増加している。一方、新規求職は鉱業・採石業・砂利採取業を除き、全ての産業で増加となった。医療・福祉や宿泊業・飲食サービス業等を始めとして求人意欲の広がりもみられているが、前年の減少の反動増の要素もあることから力強さには欠け、雇用情勢の回復基調が一服したところである。今後については、円高の影響等全国の景気動向に引き続き注意が必要である。